

心の甲

だれにも過去をほめる
私は年令令の週をが

ある
いろいろな事があった
たうしかつたこ

と
うれしかつたこと
あがうしいこと、そ

んはすべてはじめての体験だ
た、物えられ

なりはじめてこの体験だ
世の中にはまだない

知ってないこと、
わかってるんことかある
出来

るかぎりの多くの未知の世界を体験したい

それにはどうすればいいか
人との付き合い

だ
その時の感情を心の動きが大切だ

感

私は紫や赤のいでハロパノのせわに於いて

ハロ、ある如ハロノ一が一回分の倉庫を持ッ

て来たのこりの^身身かすと枝豆三ツが血ヒの

、たのを降て来た私ハ「こ山」^アアと思

つた^ででも^よよ^つつと^{して}その人にとつは普通の

ことかもしれない、^云云つて環境がチかう、た

れも自分が標準だと思いがちだ、^だだのにおも

少^がが^もも^つつと^持持^つつて^来来^てて^とと言^つつて^しし^てて^たた私に

も^つつと^知知^でで^るる^のの^でで^すす^かかの^近近^事事^がが^来来^たた

この勝と辱つてし^てて^たたと思^つつたが^ああ^そそい、

枝豆を人に出す時と山くらいの量をおすの

ふきくべさだつたのね、私はおくこの経験

失敗もする、自分を標準だと思つていふかう

た、その子との対応がもうとわるぬかっただ他のへ

に、べーが枝豆を大量にやでたのを一箱にたべ

よし、うしとさそつたのだ、彼では「おいしい」と

言つて次次たべてくれた

私、は心のやで「三つではは、~~た~~だりめ、たのよしと言いた

かつたのだ、自分が標準だといふ事を相手に

しめそうとしちたのだ、あしあしどろしどろ

自分^{めいごころ}を改造するのがいかにかにむつかしいかと

とふじみ思ふ

未知の世界を体験したいなんてなまじきな

ことを言うだけだが 今のところお手上げだ